

平成 21 年 4 月 28 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間： 2006～2009

課題番号：18404018

研究課題名（和文） 建築家ガブリエルによる古典主義伝播に関する研究

研究課題名（英文） A Study on the diffusion of the classicism by Gabriel the architect

研究代表者

土居 義岳 (DOI YOSHITAKE)

九州大学大学院・芸術工学研究院・教授

研究者番号：00227696

研究分野：建築学

科研費の分科・細目：建築史・意匠

キーワード：ガブリエル、古典主義、ボルドー、レンヌ、ディジョン、建築アカデミー

## 1. 研究計画の概要

フランスでは17世紀末から18世紀にかけて、パリの建築アカデミーにおいて標準的な古典主義建築デザインが確立し、それが地方に伝播していった。同時期、フランス行政も中央集権化をすすめて、政治的にも経済的にも地方を支配するようになったのであって、その象徴が「地方長官」制度であった。

この建築の動向と、政治・経済・制度のそれはどうぜん連動しているものであって、地方の拠点都市における都市計画事業は、中央から派遣された建築家と地方長官が二人三脚でなしとげたものであった。

こうした観点から王が派遣した建築家ガブリエルが、ボルドー、レンヌ、ディジョンにおいて地方長官と共同して、いかに官庁建築、広場などを建設し、地方の政治勢力といかなる葛藤を克服して実現していったか、その具体的局面を明らかにすることで、古典主義の伝播という建築上の現象が、いかなる背景のうえになりたっていたかを明らかにする。

このことによって古典主義建築を成立させた社会的背景を明らかにするとともに、リージョンの時代において地方の自律性のもとに都市計画が展開される現代を再考する足場として、中央と地方の相克の時代であった18世紀前半を再評価することを目的とする。

## 2. 研究の進捗状況

18年度にボルドー市、19年度にレンヌ市、20年度にディジョン市の現地調査をおこない、それぞれの都市で図書館、公文書館、博物館などで資料を収集した。どの都市にお

いても資料の保存状態は良好で、市政府の行政資料もふくめ、建築家の自筆図面など、資料価値の高いものを収集できた。

さらに地方における充実した既往研究も発見することができた。これらは従来の建築史研究の視野にはまったくとらえられなかったものであるが、これにもとづく地方誌研究はガブリエル研究にとって貴重な素材である。

以上のような資料収集と既往研究読解により、18世紀の都市プロジェクトが成立する背景が、3都市それぞれで解明できた。地方都市では中世末の市政体の成立事情、あるいはブルターニュ公国がフランス地域圏になったというような出自の事情が、反映している。すなわち地方三部会、高等法院、市政体といった地方政治制度の構成員、階級といったありようが、国王派遣建築家、地方長官、国王諮問会議、財務長官といった中央権力の代表者たちとの関係が規定される。この関係性のうえに地方都市プロジェクトが規定される。たとえばボルドー王立広場建設において、徴税署は王権の利害、港湾施設は市の利害に関係しているなど、ひとつのプロジェクトにおける利害関係のモザイクが解明できた。

古典主義デザインについては図面資料などの分析から、17世紀末のアカデミー的標準設計が適応されたというより、地方プロジェクトでの葛藤が建築アカデミーの議論に反映され、1730年代の標準設計ができたという流れも解明できた。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

理由：資料収集は、発見もあり予想以上の充実であった。分析もプロジェクトの政治的・制度的解明がじゅうぶんできているし、図面資料からの分析結果も充実している。

#### 4. 今後の研究の推進方策

ガブリエル関係資料について前述3都市および他都市などで補足調査をする。建築デザイン手法についてさらに分析する。ある都市空間プロジェクトについて政治、経済、社会、建築など多角的視点から論ずる研究であり、その叙述の方法論がきわめて重要であるので、それを方法論的に探求する。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 件)

〔学会発表〕(計2件)

(1) 土居義岳、建築家ガブリエルの地方における立場 ---ボルド、レンヌ、ディジョンを中心に、日本建築学会九州支部研究報告・第48号、pp.801-804、2009年3月8日、琉球大学

(2) 土居義岳、ボルドー王像広場の実現されなかった前身計画、日本建築学会研究報告・F-2分冊、p.247-248、2007年8月29日、福岡大学

〔図書〕(計1件)

土居義岳、プロジェクトとしての王像広場への序説、鈴木博之先生献呈論文集(仮題)、(査読有)、2009年10月刊行予定

〔産業財産権〕

○出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕